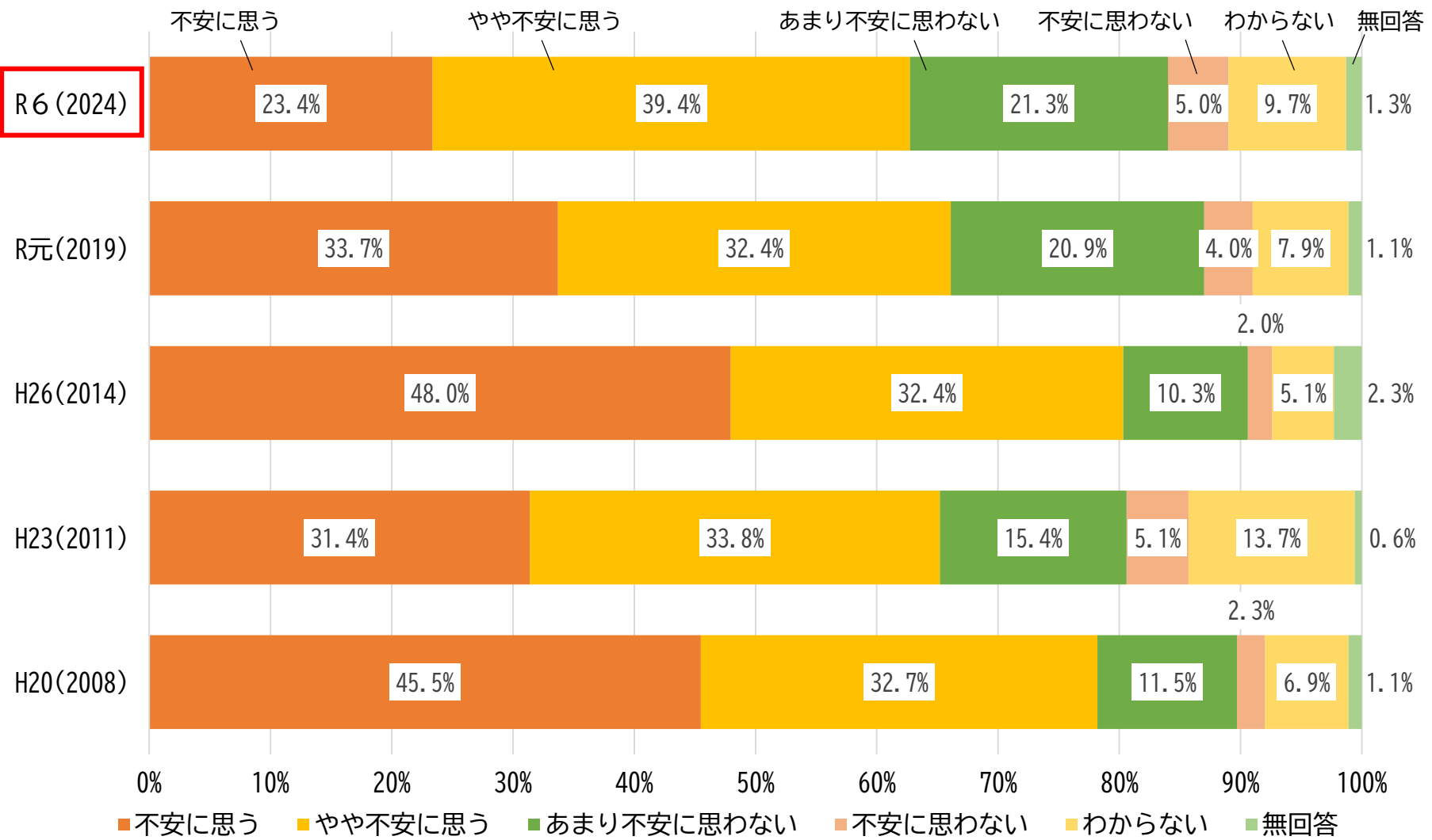


令和6年度(2024年度) 道民意識調査の結果

【調査の概要】

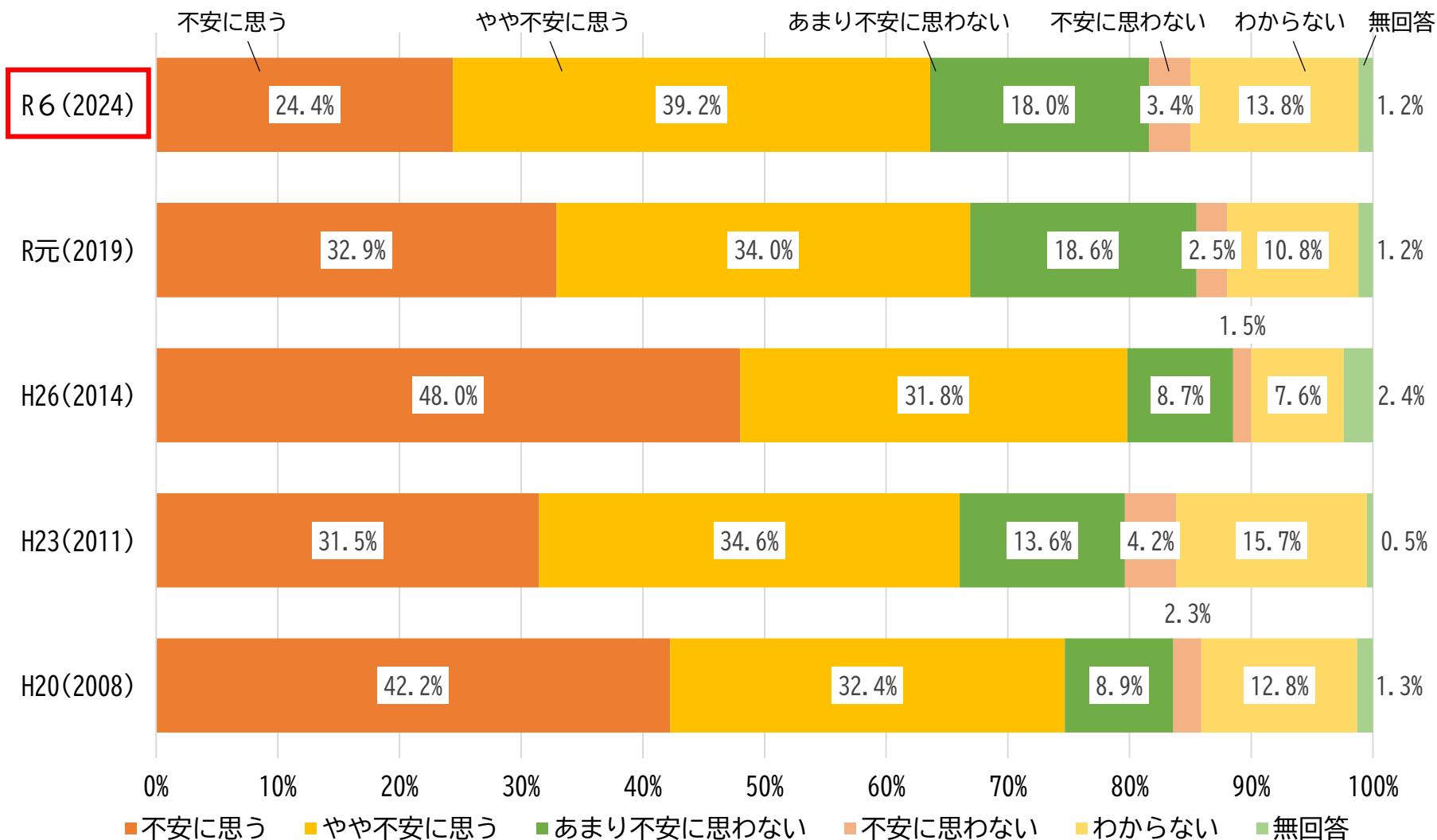
- 調査対象：道内に居住する満18歳以上の個人
- 標本数：1,500サンプル
- 抽出方法：層化二段無作為抽出法
- 調査方法：郵送配付、郵送回収及びWebによる回答
- 調査期間：令和6年(2024年)9月～10月
- 有効回収数(率)：766(51.1%)

問1 遺伝子組換え作物及びそれを使った加工食品の安全性について、どのように思いますか。



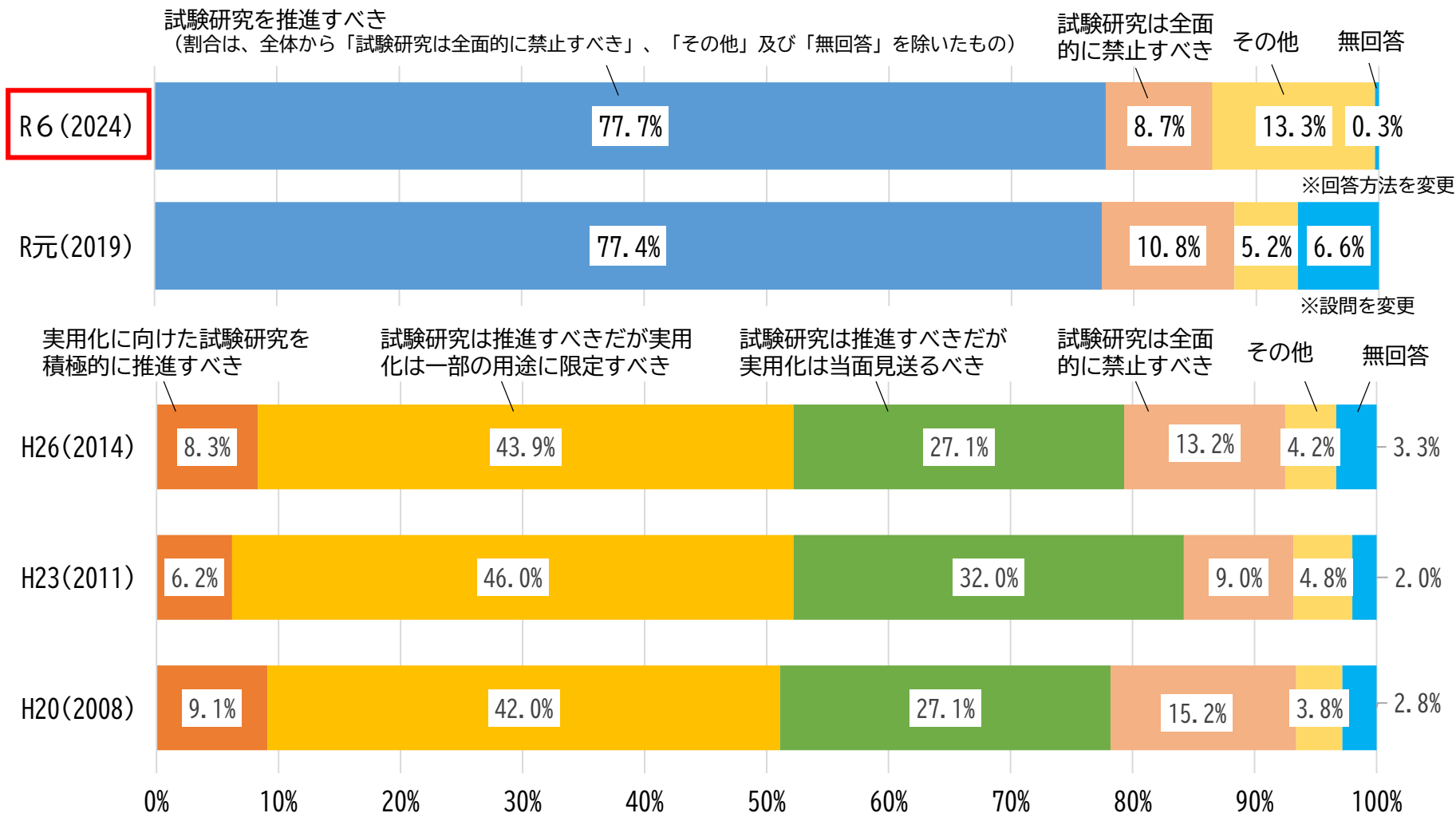
「不安に思う」と「やや不安に思う」で62.8%と、「不安を持っている」との回答が6割を超えている。

問2 遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響については、どう思いますか。



「不安に思う」と「やや不安に思う」で63.6%と、「不安を持っている」との回答が6割を超えている。

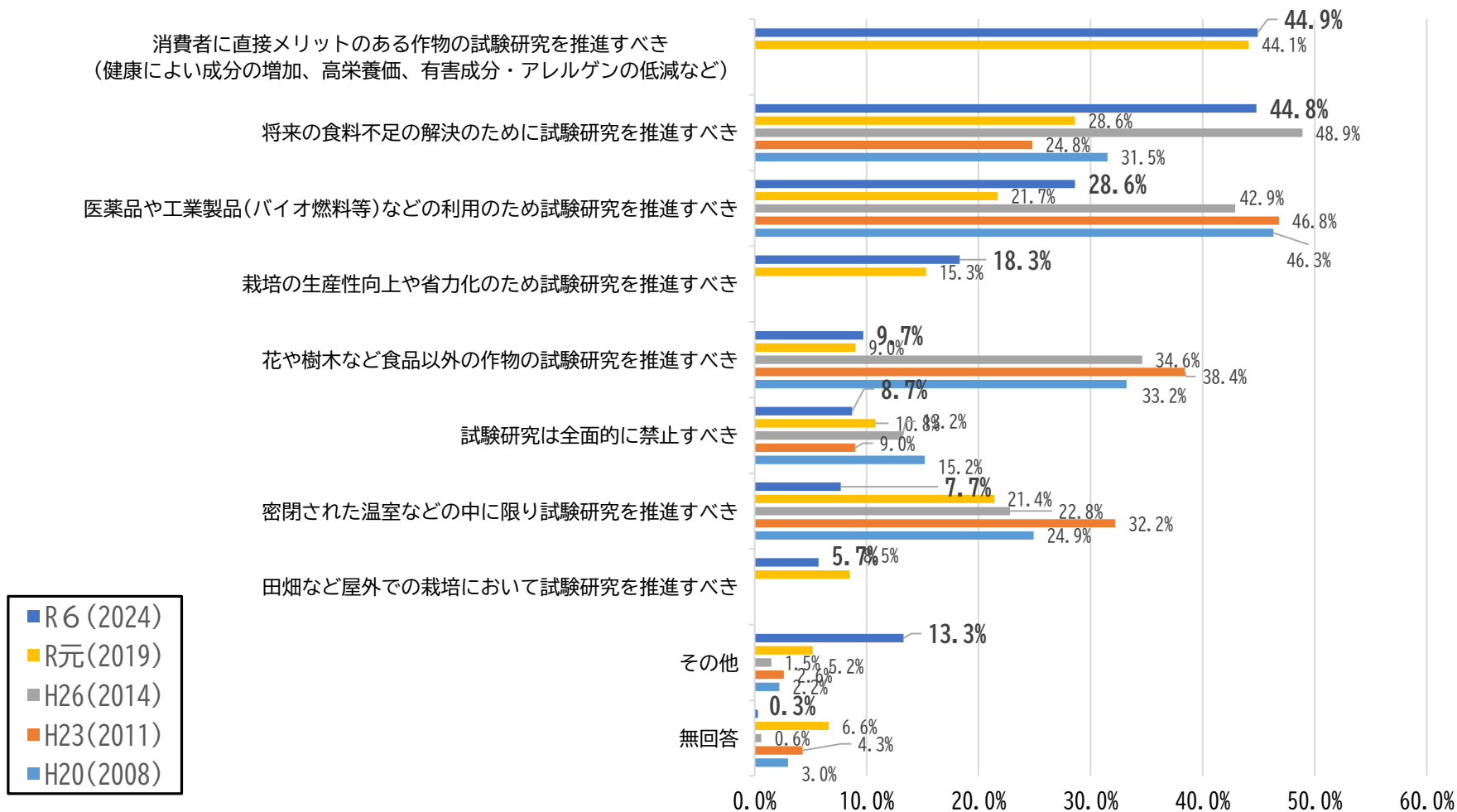
問3-1 遺伝子組換え技術の試験研究について、どのように思いますか。



「試験研究を推進すべき」とする意見は、8割近くを占めている。

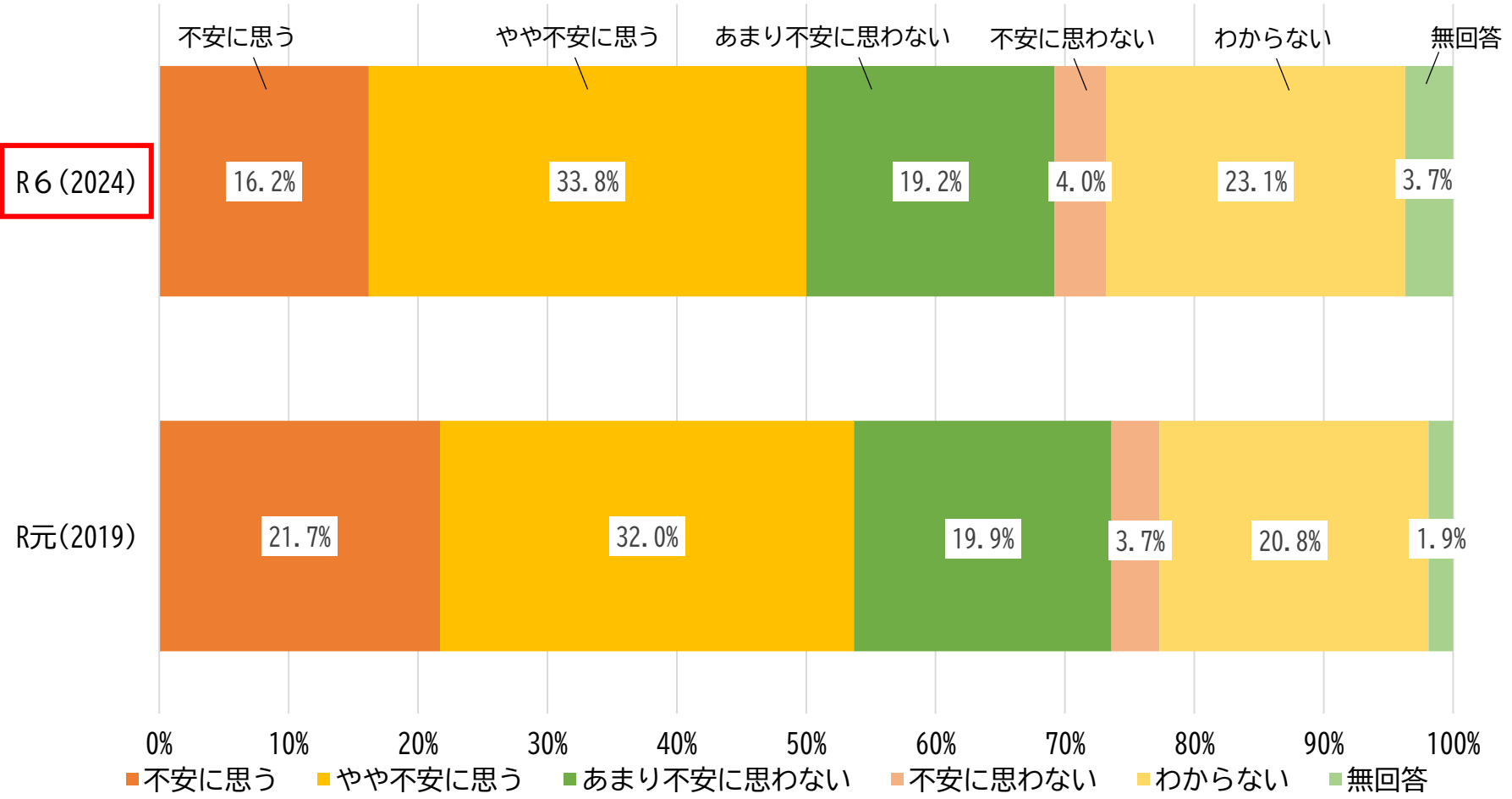
問3-2 遺伝子組換え技術の試験研究について、どのように思いますか。（「推進すべき」と思う方は複数回答）

（H20・23・26の設問は、「問3-1」で「試験研究は推進すべきだが『実用化は一部の用途に限定』または『実用化は当面見送る』」を選んだ方を対象に、「どのような試験研究なら行ってもよいと思いますか」）



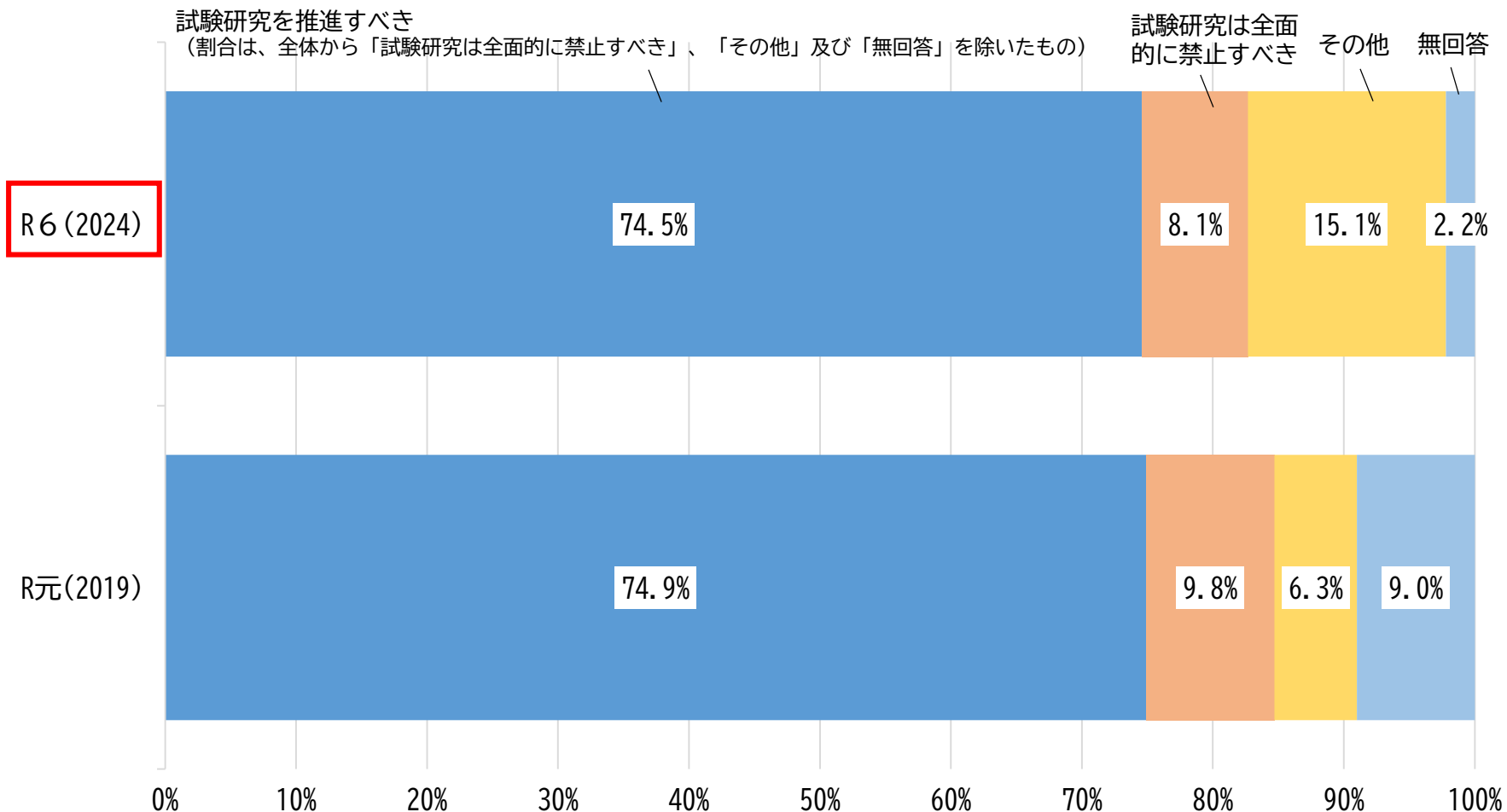
「消費者に直接メリットのある作物の試験研究を推進すべき(健康により成分の増加、高栄養価、有害成分・アレルギーの低減など)」(44.9%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「将来の食料不足の解決のために推進すべき」(44.8%)、「医薬品や工業製品(バイオ燃料等)などの利用のため推進すべき」(28.6%)の順となっている。

問4 ゲノム編集技術を利用した農作物等の研究開発や食品の流通について、どのように思いますか。



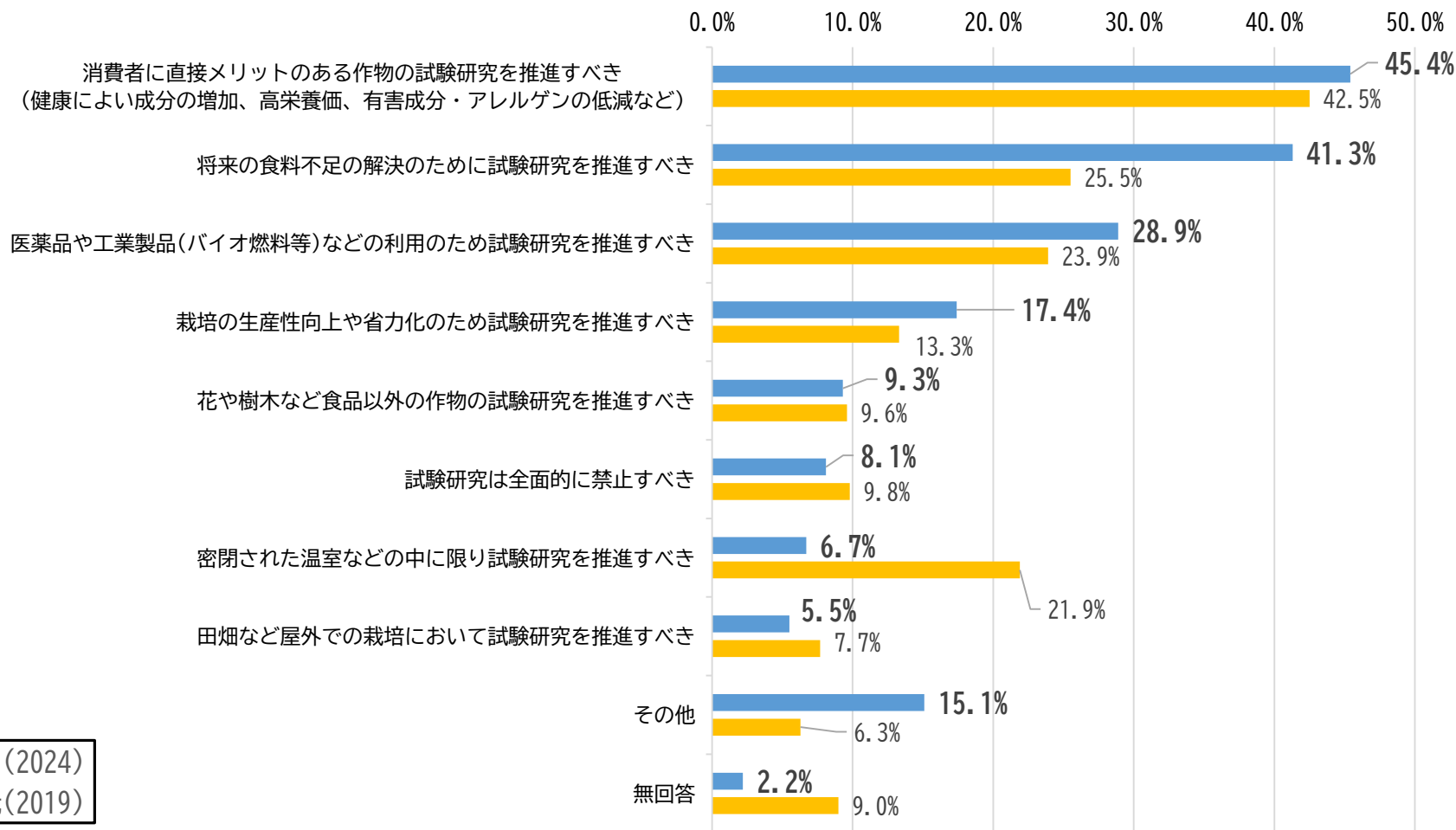
「不安に思う」と「やや不安に思う」で5割となっているほか、「わからない」との回答が約2割となっている。

問5-1 ゲノム編集技術の試験研究について、どのように思いますか。



「試験研究を推進すべき」とする意見は、7割強となっている。

問5-2 ゲノム編集技術の試験研究について、どのように思いますか。（「推進すべき」と思う方は複数回答）



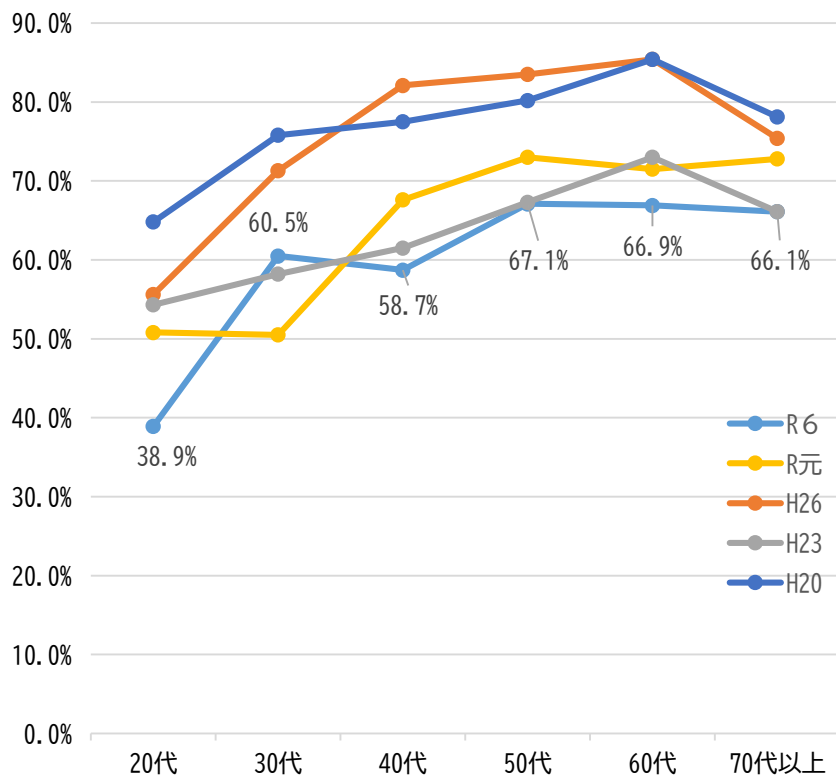
■ R6 (2024)
■ R元 (2019)

「消費者に直接メリットのある作物を推進すべき(健康によい成分の増加、高栄養価、有害成分・アレルゲンの低減など)」(45.4%)と答えた方の割合が最も高く、次いで「将来の食料不足の解決のために推進すべき」(41.3%)、「医薬品や工業製品(バイオ燃料等)などの利用のために推進すべき」(28.9%)の順となっている。

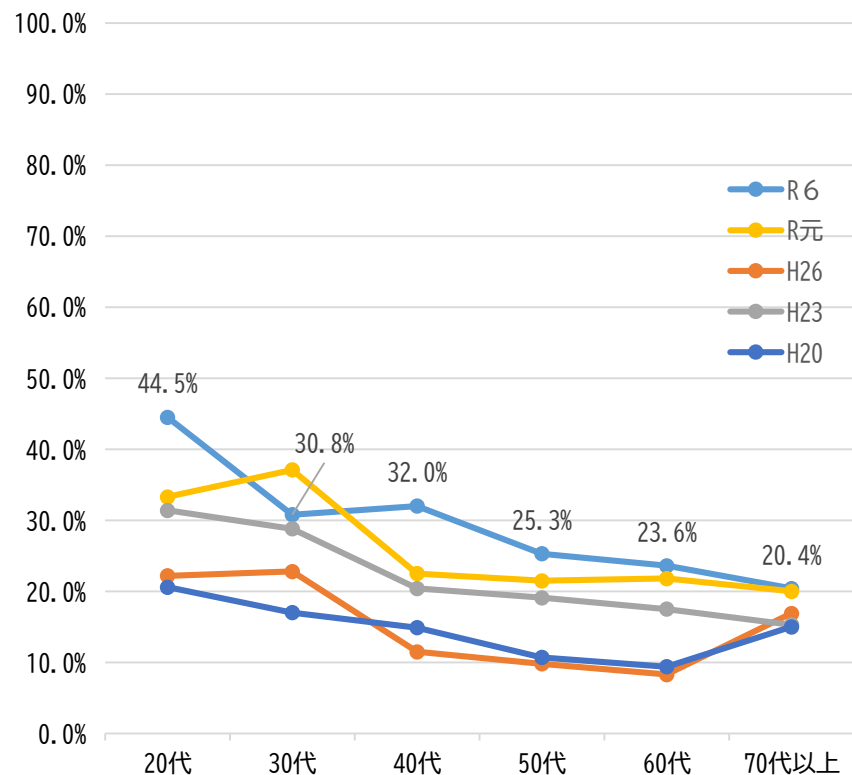
(参考) 道民意識調査 年代別における割合の比較

問1 遺伝子組換え作物及びそれを使った加工食品の安全性について、どのように思いますか。

「不安に思う+やや不安に思う」



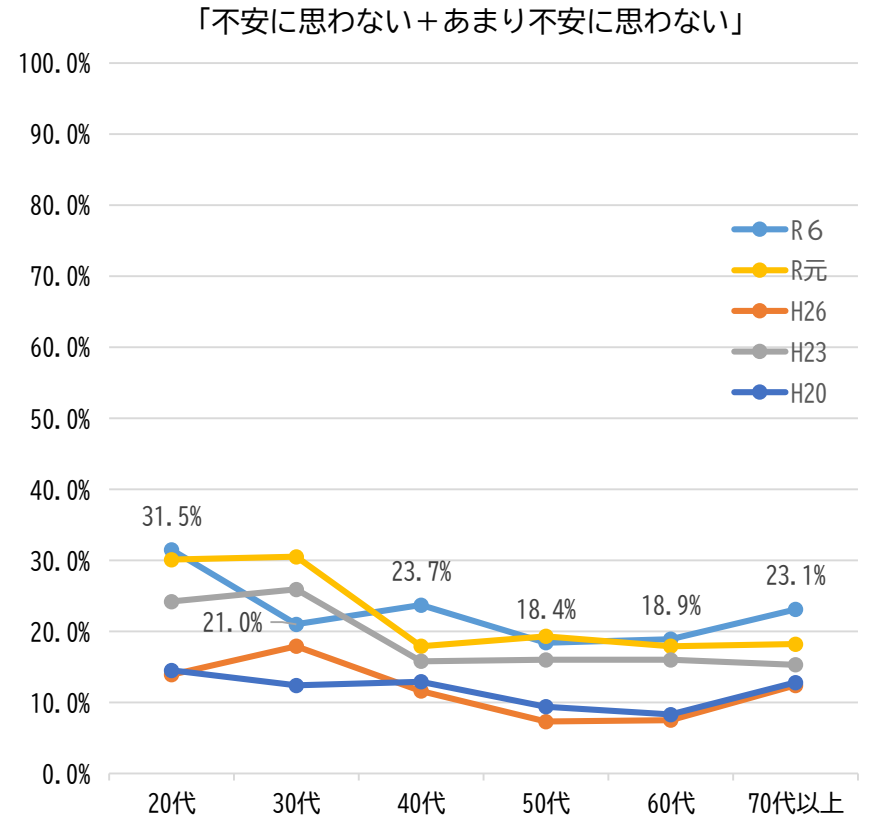
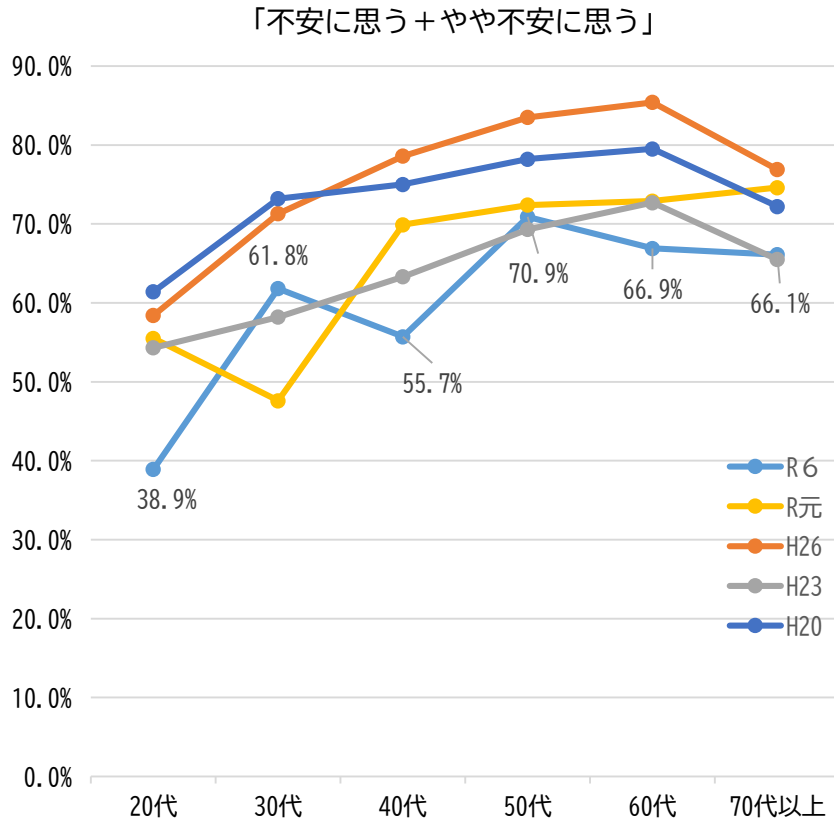
「不安に思わない+あまり不安に思わない」



※R元以降の20代は、18~29歳まで

「不安に思う」+「やや不安に思う」については、50代（67.1%）が最も割合が高く、20代（38.9%）が最も割合が低い。
 「不安に思わない」+「あまり不安に思わない」については、20代（44.5%）が最も割合が高く、70代（20.4%）が最も割合が低い。

問2 遺伝子組換え作物を栽培することによる自然や環境への影響については、どう思いますか。

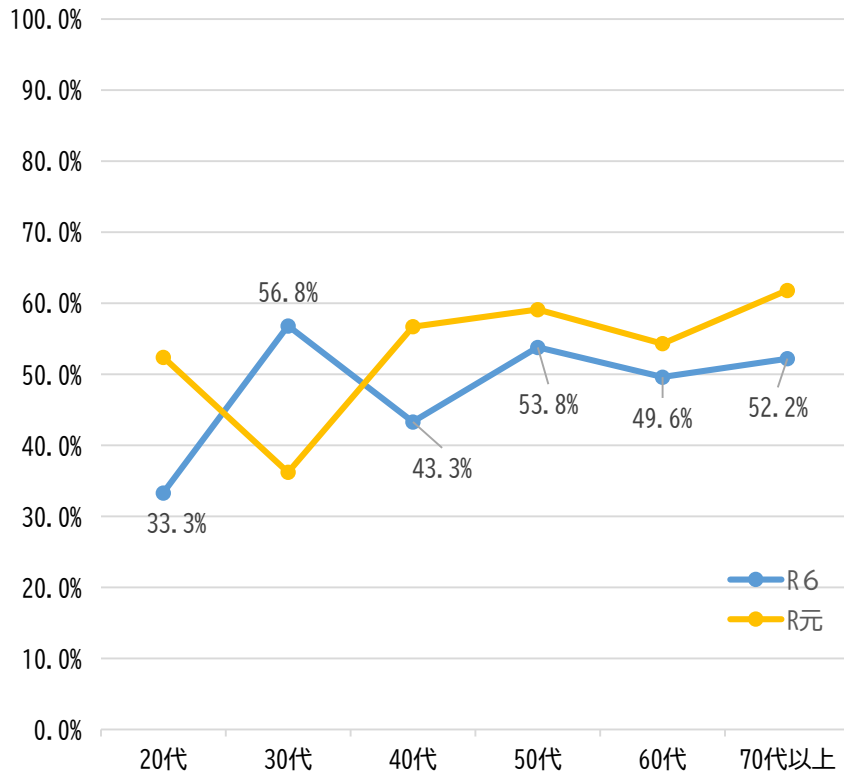


※R元以降の20代は、18~29歳まで

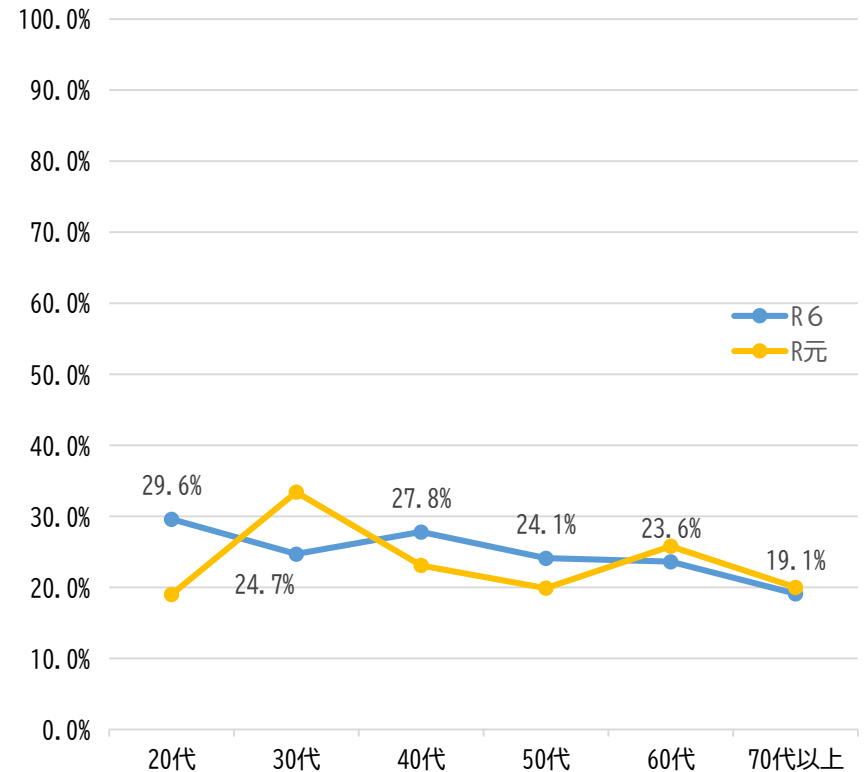
「不安に思う」+「やや不安に思う」については、50代（70.9%）が最も割合が高く、20代（38.9%）が最も割合が低い。
 「不安に思わない」+「あまり不安に思わない」については、20代（31.5%）が最も割合が高く、50代（18.4%）が最も割合が低い。

問4 ゲノム編集技術を利用した農作物等の研究開発や食品の流通について、どのように思いますか。

「不安に思う+やや不安に思う」



「不安に思わない+あまり不安に思わない」



※R元以降の20代は、18~29歳まで

「不安に思う」+「やや不安に思う」については、30代（56.8%）が最も割合が高く、20代（33.3%）が最も割合が低い。
「不安に思わない」+「あまり不安に思わない」については、20代（29.6%）が最も割合が高く、70代（19.1%）が最も割合が低い。